

令和８年度 学校再編についての意見交換会 会議録要旨

日時：令和８年７月１４日（金）１７：００～１８：３４

場所：安乎中学校会議室

参集範囲：安乎小中学校学校運営協議会委員、学校関係者、教育委員会

【委員からの主な意見】

① 中学校の在り方について

●統合の時期・進め方

- ・令和１１年度統合の方向性は、あくまでも案であることは理解している。
- ・統合が決まった場合でも、いきなり転校させるのではなく、ならし期間・試行期間を設けてほしい。
- ・中学３年生での統合となると、成績のつけ方や授業スタイルの違いによる受験への影響も含め、子どもへの負担が大きいため、順次移行（１年生から新校に移行）という選択肢も案として示してほしい。

●統合先・規模への不安

- ・洲浜中学校は人数が多く、少人数で育った安乎の子どもたちが大人数の中に入ることへの不安がある。
- ・「なぜこちらが行かなければならないのか」という気持ちがある。地域に学校を残してほしい。
- ・段階的に校区を広げ、各校に希望者を受け入れる方法も検討できないか。
- ・統合時には、洲浜中学校の教員がそのまま多数を占めるのではなく、安乎中学校の教員も一定数配置されるよう配慮してほしい。

●子どもへの影響・ケア

- ・統合により制服が変わると、兄弟の制服が使えなくなり、家庭の経済的負担が増す。
- ・統合後に旧校の制服で登校することで、いじめのきっかけになりかねない。制服のリサイクル（リユース）制度の整備や、市からの補助を検討してほしい。
- ・制服の存廃についても、大人だけでなく子どもの意見を聞いた上で決めてほしい。
- ・スクールカウンセラーを多めに配置するなど、子どものケア体制を充実させてほしい。
- ・安乎の子どもたちは小規模校で育ったことで純粋さや責任感が培われており、高校進学後も活躍している。子どもの順応力を信じることも大切。

●部活動の地域移行

- ・地域移行後の具体的な内容が見えてこないことへの不安がある。早めに具体的な情報を示してほしい。

●スクールバスの運行等

- ・安乎地域は校区が広いため、発着場所や便数を柔軟に設定してほしい。
- ・現在の安乎中学校でかかっている経費を、統合後のスクールバスの充実など、子どもたちの支援に活用してほしい。

② 協議の体制について

●情報発信・周知方法

- ・子育て世代の多くが統合の詳細を知らず、「もう決まったのでは」と思っている人も多い。周知の徹底が必要。
- ・市のホームページはあまり見られていないのが実情。メール配信、市公式 LINE、SNS 等を活用して広く周知してほしい。
- ・PTA 総会等に出向いて顔を見せながら説明することが、保護者の不安解消に有効ではないか。

●意見収集の方法

- ・動画配信（オンデマンド）をベースにした意見交換の方法は、子育て世代が参加しやすく有効。
- ・移住者の声も積極的に聞くべき。田舎の小規模校を求めて来た人たちにとって、大規模統合は移住の動機に反する可能性がある。
- ・子ども（中学生・小学校高学年）の意見も聞いてほしい。大人とは異なる視点が出てくる可能性がある。

●協議の進め方

- ・中学校と小学校の協議を並行して進めるのは難しい。まず中学校の協議を先行させる方が進めやすい。
- ・学校運営協議会の委員だけで方向性を決めることには限界がある。委員が地域全体を代表しているとは言えず、その責任も負えない。
- ・市の考えや対策が保護者に伝わっていないことで、感情的な対立が生じている。丁寧な対話を重ねることが重要。

③ 小学校の在り方などについて

●小学校存続への強い要望

- ・ 小学校は地域社会の基盤であり、なくなると若い世代が転出し、地域の過疎化がさらに加速する。保育所も含め、地域に学校を残してほしい。
- ・ 安乎小学校は1年生から6年生が同じ階にあり、縦のつながりが自然に育まれる環境がある。サポートが必要な子どもも戻りやすい環境であり、先生が目配り・気配りが行き届いている。地域の人子どもを顔で知っているという安心感も大切。
- ・ 移住者の中には小規模校を求めて来た人もおり、そうした人たちの声も聞くべき。

●過疎化への懸念

- ・ 小学校、保育所がなくなることは過疎化につながる。若い人は学校のないところには来ない。

●複式学級について

- ・ 複式学級のデメリットよりメリットの方が大きいという声もある。ICTを活用するなど工夫すれば、複数クラスに負けない教育ができるのではないか。
- ・ 小規模特認校制度の活用も検討してほしい。

●統合の方法について

- ・ 小学校低学年は統合の影響が大きい。できれば低学年は現状維持のまま、中学年以降から統合できないか。
- ・ 他市の統合事例でのトラブル（低学年の対応、バス酔い等）の情報があれば共有してほしい。
- ・ なぜ洲本第二小学校なのかという疑問が地域に根強い。洲本第二小学校ありきで進められているように受け取られている。

●学童保育

- ・ 統合後の学童保育はどうなるのか。共働き家庭にとって重要な問題である。